

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-82

学校名・団体名	豊岡市立田鶴野小学校
HPアドレス	http://www2.city.toyooka.hyogo.jp/edu/school/tazurunoes/
コース	学校支援
活動・研究テーマ	大人への「あこがれ」が児童の夢を育む キャリア教育

〈活動・研究の意義、目的〉

ニート、フリーター、若者の離職率の高さなど、学校から職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増え、社会問題となっている。また、「学力は高いが学ぶことは嫌い」「受験を終えると学びをやめる」といった、日本の子ども達の学ぶ意欲の低さが指摘されている。今後は、「学習したことを社会でどのように生かすか」といった活用能力が求められる。また、急速な社会の変化の中で、知識を暗記するだけでなく、生涯を通して学び続けることが必要となる。

本校では、高学年児童の約半数が、具体的な夢や目標を持っていないという実態が見られた。また、児童からは「学校の勉強は大人になって役に立つのか?」「スマホがあれば漢字も計算もできるから勉強できなくてもいい」といった疑問の声や学習への受け身の姿勢も見受けられる。

児童の周りには、職業についての書籍や情報が溢れているにも関わらず、なかなか積極的な姿勢が見られないことから、様々な職業人と出会い、直接対話し、見聞きし、実体験する機会をつくることが有効ではないかと考えた。そこで、地域で活躍されている様々な職業人との出会いの場を作り、「学習」と「社会」や「職業」とのつながりについて学ぶ機会を設定した。その中で、大人にあこがれ、夢・目標を持ったり、子ども自身が学ぶ意義を発見・実感したりすることで、生涯学び続けていくための原動力を育てることを目指して本活動に取り組んだ。

1 概要 「夢プロジェクト」

様々な職業人との出会い
学習と仕事のつながり、働くこと・学ぶことの意義を発見する

あこがれ、夢、目標

学び続ける原動力

2 内容

夢プロジェクト①「歌う会社員の音楽の授業」(H28.12.7)

講師 株式会社 但馬寿 遊月亭いく蔵氏

教科：音楽

参加児童：全校児童 161名

Uターンし、新温泉町の観光土産菓子の製造販売会社で、大好きな音楽を、営業の仕事に生かしている「歌う会社員」、遊月亭いく蔵氏による、音楽の授業を行った。自作の商品PRソングやご当地ソングの数々を歌って頂きながら、人の気持ちを動かす「音楽」の力、音楽と仕事のつながり、故郷の魅力について学んだ。校区内の名所である玄武洞のPRソングを、児童と共に即興で作曲し、本格的な曲作りも体験することができた。



夢プロジェクト②「コウノトリ育む米のスイーツ作り」(H29.1.16)

講師 omame 岡本 咲世氏 ・岡本 圭二氏

教科：総合

参加児童：5年生児童 26名

総合的な学習の時間で、地域の宝であるコウノトリと人間の共生をテーマに学習をした。その学習の一環として、校区内で焼き菓子店を営む岡本咲世氏・岡本圭二氏を講師に招き、コウノトリ育む農法で育てられたお米の米粉を使って、米粉クレープ作りを行った。製菓のプロから、製菓の本格的な技や仕事への心構えなどを学んだ。プロの仕事ぶりを間近に見た児童達からは、驚きの声が上がった。また、地元食材の魅力や食と環境のつながりにも気づくことができた。



夢プロジェクト③「仕事博」(H29.2.8)

本校では、高学年になると、夢や目標を持っている児童が減少する傾向が見られ、学習へ受動的な姿勢に課題があった。そこで、5名の職業人を一斉に招き、「学習」と「仕事」について考える授業を実施した。

講師 加藤 博章氏 (パティシエ)
小田垣 縁氏 (養豚業)
高品 沙耶氏 (ウェディングプランナー)
村尾 克哉氏 (消防士)
片岡 崇彰氏 (情報誌編集者)

教科：道徳・総合

参加児童：5年生26名 6年生28名

第一部では、職業人がそれぞれの仕事について紹介する5つのブースを、児童が回り、それぞれの仕事について学ぶ仕事見学を行った。仕事の内容や魅力・大変さについて聞いたり、児童が質問を行ったりした。講師と近い距離で、質問をしたり話を聞いたりすることで、プロの仕事へのこだわり・信念にふれることができた。



第二部では、「学習と仕事のつながり」をテーマに、講師が児童の疑問や悩みに答えるパネルディスカッションを行った。各講師がそれぞれの職業の立場から、学習と仕事が密接につながっていることや学び続けることの意義について語って下さり、児童は自分なりに、学ぶ意義や夢・目標について考えることができた。

自分から質問に行く姿も・・・休憩中に、自分から講師のところへ行き質問する姿が見られた。講師からは、熱心にアドバイスが返される。受け身ではなく、自分から学ぼうという姿勢が、会場内のあちこちで見られた。



- ・仕事に役に立つ教科は全部だと分かったので、自分の夢に向けて、勉強をしっかりとやりたいと思いました。(5年生女子)
- ・パティシエの方の「成功するまでやり続ける」「前回より今回」という言葉が心に残りました。(5年生女子)

- ・僕がめざす薬剤士には、理科と算数が特に役立つと気づき、どちらも好きな教科だったので驚きました。(5年生男子)
- ・将来の夢が大きくふくらみ、仕事についてもっと知りたくなりました。(6年生女子)

夢プロジェクト③「漫画家の絵と仕事の授業」(H29.2.21)

講師 漫画家 ひうら さとる氏

教科：図工

参加児童：3年生26名 5年生26名

但馬地域に在住の漫画家ひうらさとる氏を講師に招き、「相手に伝わる絵の描き方講座」と「漫画家の仕事」についての授業を行った。児童の質問に答えて、漫画家になる方法、漫画の制作過程、コンピューターやインターネットを活用した仕事の仕方などについてお話を聞いた。また、相手に伝わる絵の描き方や影の付け方など、実践的な技術指導も受けることができた。



3成果 「夢プロジェクトを振り返って」5・6生児童アンケート結果より

本物の出会いから、あこがれ・夢・目標が生まれた

夢や目標はありますか	55% (10月)	73% (2月)
------------	-----------	----------

夢プロジェクトをきっかけに、夢や目標が見つかった 18%

児童の興味・関心は実に多様である。児童に大人へのあこがれや夢を育み、学びへのモチベーションを高めることは、教師の力だけでは難しい。様々な職業人と子どもとの出会いを作り、大人へのあこがれや夢を育むきっかけを作ることは大きな意義があった。アンケート結果からは、高学年児童の中には、多様な職業人との出会いや学びへの強いニーズがあることが分かった。それは、書籍等の間接的な情報ではなく、職業人と出会い、直接に語り合い見聞きする機会を欲していることが分かった。

将来の生き方の参考になった	あこがれや目標とする大人に出会えた	大人に仕事の話を聞く授業は必要	学習と仕事のつながりに気が付いた	学習や生活への意欲が高まった
98%	54%	100%	88%	78%

学習と仕事のつながりを発見

また、学習と仕事のつながりについて、それぞれの仕事の立場から、職業人が語ることは、私たち教師が語る以上に、大変説得力があり、子ども達の心に響いたようである。児童は、学びと仕事のつながりを実感し、学ぶ意義や目的を、自分なりに発見することができた。それは、日々の学習への積極的姿勢にも表れ始めている。また、我々教師自身も、学びと仕事の密接なつながりを再発見することとなった。

いつもの授業とは違う子どもが輝いた

多様な職業人を招いた授業の中では、普段授業で活躍することが少ない児童が活躍し認められ、スポットライトを浴びる場面が度々あった。児童にとって自信を持つきっかけとなった。また、社会には様々な職業があり、多様な能力が必要とされ、多様なものさしがあることを、この授業を通して、子ども達と共に学ぶことができた。

ふるさとの魅力も再発見

本校のある但馬地域は、若年層の人口流出や過疎化の問題が深刻である。今回、地域人材を講師として招いたことで、子ども達が住む地域の魅力を再発見し、ふるさとへの愛着を生むきっかけにもなった。キャリア教育における「ふるさと教育」の重要性や可能性を実感することができた。

今後も、地域への積極的な情報発信を行い、地域の企業や人の協力を得て、学習と仕事・社会を結び付けた授業づくりを進めていきたい。学びの意義や社会とのつながりを実感できる機会や授業づくりを行い、学び続ける原動力を、児童に育てていきたい。

4 添付書類 (新聞掲載記事) ①12.9 (産経新聞) ②12.8 (読売新聞) ③1.17 (神戸新聞) ④2.9 (読売新聞) ⑤2.22 (神戸新聞) ⑥2.22 (産経新聞)